



平成23年9月5日

各位

会社名 マックスバリュ北海道株式会社
代表者名 代表取締役社長 山尾 啓一
(JASDAQ・コード7465)
問合せ先 役職・氏名
取締役経営企画室長 兼
経営管理本部長 出戸 信成
電話 011-631-5192

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年3月16日に公表いたしました平成24年1月期（平成23年2月1日～平成24年1月31日）の第2四半期（累計）個別業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

平成24年1月期 第2四半期（累計）個別業績予想数値の修正(平成23年2月1日～平成23年7月31日)

修正の内容

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	39,000	▲40	▲40	▲380	▲55.65
今回発表予想 (B)	39,594	220	216	▲279	▲41.00
増減額 (B-A)	594	260	256	101	—
増減率 (%)	1.5	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 平成23年1月期第2四半期	37,807	▲162	▲166	▲161	▲23.67

修正の理由

当第2四半期累計期間の業績につきましては、営業収益は「マックスバリュ」業態での立地特性に合わせた店舗改装や価格競争力を強化した「ザ・ビッグ」業態が順調に推移したことにより当初予想を上回る見込みとなりました。

また、営業利益と経常利益では上記の理由に加え、東日本大震災の影響のため当第2四半期累計期間で計画していた店舗改装、業態転換が第3四半期以降にずれこみ設備投資等の経費が当初計画よりも下回り、その結果、当初予想よりも営業利益は2億60百万円、経常利益は2億56百万円上回る見込みとなりました。当期純利益は、店舗改装、業態転換に伴う固定資産の除却等の費用が第3四半期以降にずれこんだこと等により当初予想よりも1億1百万円改善する2億79百万円の当期純損失の見込みとなりました。

なお、通期業績予想につきましては、東日本大震災後の消費への影響や第3四半期以降の改装、業態転換を勘案し、平成23年3月16日に公表いたしました平成24年1月期の業績予想に変更はありません。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき算出したものであり実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上